

せせらぎ



令和4年4月19日
富士市立原田小学校
学校だより 4月号

～ 令和4年度が始まりました ～

校長 大橋 幸治

令和4年4月1日に原田小学校に校長として着任しました大橋幸治（おおはし こうじ）と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。

“春風や闘志抱きて丘にたつ”

これは高浜虚子の句です。挑戦を始める春にぴったりの句である気がしています。4月7日、新年度がスタートしました。コロナウイルスの感染力は依然強く、令和4年度も感染防止対策を継続しながら、学びを創っていく一年になります。子どもたちは、新たな学年や新しい友達・学級担任との出会いに、緊張・不安・喜びが混じっているように感じました。しばらくは、新しい学級に慣れることで精一杯だと思いますので、少しゆったりとした気持ちでお子様を見ていただくと幸いです。



【始業式児童代表の言葉】

さて、4月1日から「富士市子どもの権利条例」が施行されました。本校では「学校で安心して過ごすことができ、自分の思いや考えを自由に表現することができる」ことを大切にしていきます。子どもが規範意識をもちながら、その子らしく成長する権利を保障することができるやさしい学校になるように努めてまいります。その上で、今年度は以下の重点目標を決めました。

（令和4年度 重点目標）

「いいね。」を広げよう

よくきいて 自分の考えをもとう

原田小学校に着任してから2週間が過ぎ、原田小学校に勤務して感じることは、子どもたちが挨拶を自然にすることができ、話をしっかり聴くことができることです。保護者や地域の皆様が、あたたかな気持ちで子どもを育ててくださっているのが分かります。

子どもたちが、自分の力を伸ばしていくために、「自己肯定感をさらに高めること」が大切ではないかと考えました。そこで、令和4年度の重点目標の一つは『「いいね。」を広げよう』とします。自分のよいところを見つけることができるようになってきた子どもが、さらに自信を広げ、進んで何事にも挑戦できるように支援していきます。我々教職員も、保護者や地域の皆さまと一緒に子どもを肯定的にとらえ、温かな環境の中で、子どもの力を広げていけたらと考えております。

もう一つの重点目標は「よくきいて 自分の考えをもとう」です。新たな知識や技能を習得し、自分の力にしていくためには、聴いたことを自分の経験と結び付けたり、それについて自分がどう感じるのかを整理したりする必要があります。また、自分が感じたことやその理由を言葉にすることで、自分の考えに気が付き、自分自身の再発見につながります。「きく」こと「感じる」こと「言葉にすること」を意識していきます。

最後に、昨年度末の配置換によって11人が他校に異動し、11人が本校に着任しました。今年度も力を尽くして児童の成長に関わらせていただきますので、どうぞよろしくお願ひいたします。